



# Gâi aios&Dankie



ナミビア通信 No.9 2018年 11月 23日 青年海外協力隊 松原小夏

こんにちは。ナミビアで青年海外協力隊として活動している松原です。日本はもうすっかり冬ですね。こちらはこれから夏本番。日中は 40℃を超えます。私の出身地、多治見市と同じく、盆地なので気温が上がりやすいらしいです。また随分と時間が空いてしまいましたが、お時間があれば読んでみてください。

## ☆トレードフェアで日本文化紹介☆

8月末の休みに、オングウェディバというナミビア北部の町で行われた「トレードフェア」に参加しました。これは、毎年開催されているお祭りのようなもので、いろいろな団体がブースを出して商品を紹介したり、販売したりします。私が所属している JICA(国際協力機構)も、日本大使館と協力してブースを出しました。



日本ブース



習字体験



日本のお祭りみたい



浴衣を着てみてね!



名前を書きました!



ビニール凧作り



ボランティア活動のプレゼン。子どもたちに、算数を使った遊びを紹介



また、ボランティアの活動を知ってもらうために、普段どんな活動をしているのか、写真を見せたり算数の遊びを紹介したりしながら話をする機会もありました。初めて会う人々に楽しく話を聞いてもらうというのは難しいことです。みんな静かに、じっとこちらを見て聞いてくれました。しかし特に盛り上がる感じではなく(笑) 普段、いかに教室の生徒の「ノリ」のよさに助けられているか、いかに自分の表現力が乏しいのかを痛感しました。



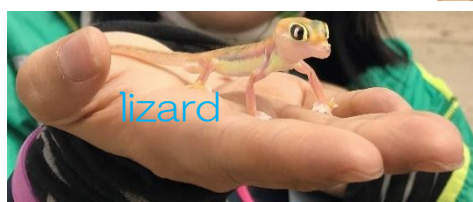
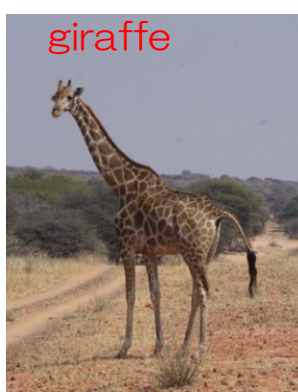
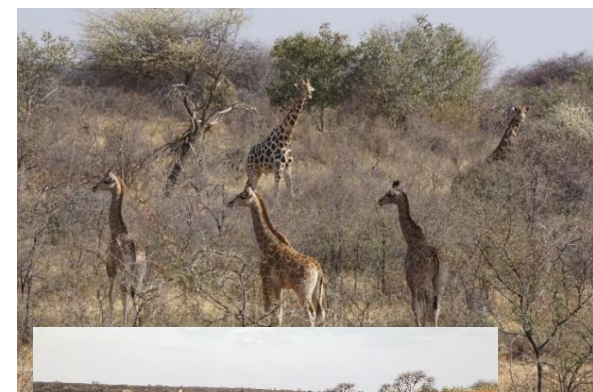
けん玉の体験

一年に一度のこの祭典は大統領も訪れるほど、国として大事な行事のようです。近代的な機器を使った企業の展示を見ると、ナミビアはもはや発展途上国ではないということがよくわかります。しかし、このような華やかな祭りがある一方で、国レベルでは貧富の差が大きいこと（世界でも有数の格差）が問題となっており、このイベントがどのように貧困解決に繋がっていくのかな…とも思いました。



### おまけ ~ナミビアの大自然~

学校が休みの日には、遠出をして、野生動物の保護地区や砂丘を見に行きました。



日本とはまた違った自然の豊かさがあありますね。お読みいただきありがとうございました。